

## 浮遊細胞培養法

### ■ 試薬 ■

- ・ 培養用培地……………カタログまたはフラスコ添付ラベル参照のこと
- ・ PBS(-) ……………カルシウム、マグネシウムを含まないリン酸緩衝液

### ■ 器具 ■

- ・ 培養容器……………シャーレ、フラスコなど
- ・ 遠心管……………先端がV型のものを使用する
- ・ ピペット類……………10～15mLおよび1-2mLのピペットと、パスツールピペットが必要

### ■ 方法 ■

- ① 先の細いパスツールピペットにてピペッティングを行い、細胞を基質より剥がす。
- ② 細胞浮遊液を遠心管に移し、培地を加えてパスツールピペットにて激しく20回程度ピペッティングを行い、100～110Gで1分間遠心する。
- ③ 細胞沈査を確認し、上清を捨てる。
- ④ 新しい培地を既知量加え、先の細いパスツールピペットにて優しくピペッティングを行い細胞浮遊液を作製する。
- ⑤ 細胞浮遊液の一部を取り、そのままあるいは適当に希釈した後、血球計算板にて生細胞数を測定する。  
(位相差顕微鏡にて白く光って見えるのが生細胞であり、黒く見えるのが死細胞である。)
- ⑥ 各細胞株に最も適した細胞濃度で新しい培養容器へ播種する。

株式会社ケー・イー・シー

試薬事業部

〒661-0978 兵庫県尼崎市久々知西町2丁目1-20

(お問い合わせ窓口)

TEL: 06-6435-9747 FAX: 06-6435-9748

URL: <http://www.kacnet.co.jp/>

E-mail: [cs-info@kacnet.co.jp](mailto:cs-info@kacnet.co.jp)